

報 告

昭和六十三年度大会の概況 日本思想史学会昭和六十三年度大会は、十月二十二日(土)・十月二十三日(日)の両日、東北大学を会場として開催された。昭和六十三年度大会は学会創立二十周年にあたり記念大会として「日本の伝統と外来思想——日本における神道・儒教・仏教・キリスト教の諸問題——」をテーマにして開催された。

第一日と第二日午前には、研究発表が行なわれた。発表者は次の諸氏である。

- | | | |
|---------------------------------|--------------|--------|
| 1、東アジアの中の国引き神話 | 昭和薬科大学 | 古田武彦 |
| 2、平安貴族社会における宿禰道の展開と天皇観への影響 | 大正大学大学院 | 三橋正 |
| 3、「日本霊異記」説話における仏教受容をめぐって | 東京大学大学院 | 頼住光子 |
| 4、道元と華嚴思想——時間論をめぐって—— | 仙台工業高等学校 | 加藤健一 |
| 5、近世における儒教——山鹿素行の儒学—— | 大阪大学大学院 | 坂下敏子 |
| 6、山鹿素行における義理の観念 | 宮城教育大学 | 本郷隆盛 |
| 7、「誠」の思想の継承と変容——朱熹と浅見綱齋—— | 筑波大学大学院 | 早川雅和 |
| 8、三浦梅園の哲学と支那学・洋学 | 国士館大学 | 高橋正和 |
| 9、北畠親房における神道と仏教 | 皇学館大学 | 白山芳太郎 |
| 10、『神令』の天皇観と対比した羅山・闇斎・延佳・宜長の天皇観 | 岩手大学 | 宇賀神一恵子 |
| 11、『養の河原地蔵和讃』の思想的位階 | 筑波大学大学院 | 中井基 |
| 12、新陰柳生流兵法と禪 | 淑徳短期大学 | 渡部哲 |
| 13、小澤蘆庵の思想について | 東洋英和女学院短期大学 | 橋原孝治 |
| 14、横井小楠における近代国家理念の特質 | 東京都立本所工業高等学校 | 榎本久人 |
| 15、キリスト教と日本の伝統文化——武士道を中心に—— | | |
| 16、浮田和民の非戦論 | | |

第一日の研究発表後、総会が行なわれ、事務局より昭和六十二年事業報告および決算報告がなされ、それぞれ承認された。続いて事務局より昭和六十三年事業計画および予算案が提案され、審議の結果、それぞれ事務局案通り決定された。

引き続き、仙台弥生会館において懇親会が催された。
第二日午後、「日本の伝統と外来思想——近世における神道・儒教・仏教・キリスト教の諸問題——」をテーマに主題発表が行なわれた。発表者と発表題目およびコメントーター、司会者は次の通りである。

発表者（*）とコメントーター

一、儒家神道における儒教摂取の思想と論理

東北福祉大学 高橋 美由紀*
東京農業大学 小笠原 春 夫

一、近世における仏教と神道——慈雲の神道説をめぐって——

学習院大学 山本 眞 功*
武蔵大学 今井 淳

一、近世初期の仏教界と岡山藩の儒学——蕃山学成立の周辺——

米沢女子短期大学 荻生 茂 博*
東北大学 玉懸 博 之

一、近世におけるキリスト教と伝統思想

早稲田大学 村田 安 穂*
防衛大学校 石毛 安 忠
同志社大学 笠井 昌 昭
筑波大学 広神 清

司会

なお、主題発表の成果は、日本思想史学第二十一号（本号）巻頭に掲載した。